

「みんなのつながりがチカラになる防災講座」

水の森市民センター

1 事業概要

地域における町内会役員等の高齢化や顔の見える関係づくりに対応するため、防災の切り口を多方面から考え、地域住民を対象とした防災講座を行っています。毎年継続して防災講座を行うことで「備え」や「知識」を身に付け、地域の防災組織と連携することにより、顔の見える関係づくりを促進し、受講生が様々な地域活動の担い手として活躍できるようにすることを目指しています。



「地域防災マップ」作成に向けた北仙台防災協議会との話し合い

2 今年度の活動



〈プロジェクトチームでの掲載内容の洗い出し〉

令和3年度は、地域から多くの声があった「防災マップの見直し（更新）」に取り組んでいます。地域で防災に取り組む団体や町内会の防災委員など比較的若い世代の男女5名が防災マップ作成メンバーとなり、プロジェクトチームを作って会議や現地調査を重ねながら作成しています。完成したマップは、令和4年2月に北仙台地区の全世帯に配布予定です。

3 成果と課題

定例会において、現状の防災マップをスクリーンに投影しながら、互いに意見を出し合い、継続して修正を図っています。会議数・時間の減少につながり、メンバーは無理なく講座を実施できています。

今後の課題は、作成したマップを常に最新の状態にしておくための情報更新と、メンバーが代わっても誰もが簡単に更新できるようにすることです。



〈プロジェクターで拡大しながらその場で修正中〉

4 今後の展望



〈小中学校の先生を招いてのマップ作成会議〉

令和4年度は、「地域防災活動への一歩を踏み出そう！（チカラを地域活動に）」というテーマで活動する予定です。今年度作成した「北仙台地区防災マップ」をもとに、プロジェクトメンバーを中心に、単位町内会ごとの防災マップ作成のお手伝いや学習会を開催して地域住民の災害時の避難行動に生かしていきます。また、マップ作成時に小中学校の先生方からも意見を伺ったことから、小中学校向けの防災マップを活用した出前講座などを開催し、地域の中で顔の見える関係づくりをさらに促進していきます。